



DAISYO CORPORATION

株式会社大庄

平成28年8月決算期

決算説明資料

日本の台所



I. 29／8月期の経営戦略及び具体的施策

II. 28／8月期決算の概要

1. 連結業績の内訳	5	6. 連結特別利益・特別損失の内訳 ...	11
2. 新規出店・改装店実績	6	7. 連結貸借対照表(B／S)	12
3. 都道府県別 グループ店舗数	7	8. 連結キャッシュ・フロー	13
4. 売上高	8－9	9. 関係会社の状況	14
5. 販売費及び一般管理費の内訳	10		

III. 29／8月期公表計画の概要

10. 29/8期 公表計画(連結ベース)	15
11. 29/8期 店舗計画	16
12. 29/8期 計画骨子	17
13. 29/8期 中期経営計画(連結ベース)	18

1. 店舗リストラクチャリングの推進

⇒ 29年8月期は、リストラのピーク年度として改装70店舗、閉店10店舗を計画

(1) 好調な「専門店」業態などへの業態転換を強化

→ 特に、ヒット業態の『とり家 ゑび寿』、『羊肉酒場・悟大』、『ランプキャップ』などの出店を強化

2. 店舗業態ポートフォリオの充実化

(1) 主力業態のブラッシュアップ

→ 『庄や』、『日本海庄や』は「大衆割烹」の原点回帰を図り、こだわりの商品力を強化

(2) 高品質食材を使用した新しい「専門店」業態の開発を続々と企画中

→ 新たに『銭函バーベキュー』、『馬肉酒場・三村』、『牡蠣喰え場』、『オイスタークラブ』
『大庄精肉センター』、『根性餃子・カ石』・・・

(3) 大型店舗はレイアウトを分割し、「小規模多機能」店舗への転換を推進

→ 『市場』、『横丁』スタイル ～『立川食肉横丁(4業態)』が大ヒット

3. MD(マーチャндаイジング)改革の推進

- (1) 地方活性化も兼ねて“生産業者との直接契約”を積極的に推進
→ 『羽田市場・超速鮮魚』とのコラボレーションも強化
- (2) 有能な「調理人」の育成とモチベーションアップにより、美味しい手作り料理を提供
→ “新しい人事制度”の構築や“調理技術大会”を開催

4. 新しい事業分野への進出

- (1) 「新物流センター」の開設準備・・・名称：『DSロジスティックス ヘッドクォーター羽田』
→ 平成30年初旬に完成予定。“毎日一括物流システム”の強みを活かし、
“コンビニ機能をもった食材卸売業者”として差別化をアピールし、外販事業を拡大
- (2) 「インバウンド事業」の取り組み
→ 英語・中国語対応メニュー、指さし会話シートなど様々な営業ツールの開発
→ 広報活動や営業力も強化

1. 連結業績の内訳

DAISYO CORP.

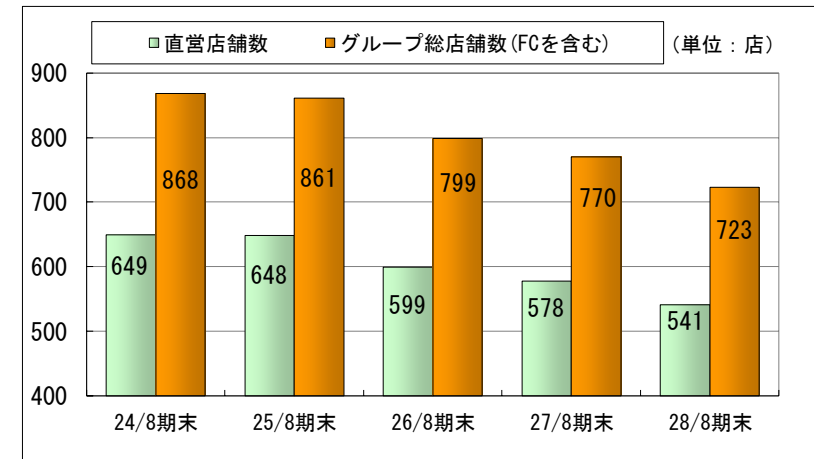
【単位：百万円】

	平成27年8月期 実績		平成28年8月期 実績		増 減 額	
		構成比		構成比		比率差
売 上 高	70,765	100.0%	68,537	100.0%	▲2,227	—
売上原価	26,243	37.1%	25,905	37.8%	▲337	+0.7%
販売費及び一般管理費	44,331	62.7%	42,656	62.2%	▲1,675	▲0.4%
営 業 利 益	190	0.3%	▲24	▲0.0%	▲214	▲0.3%
営業外収益	96	0.1%	84	0.1%	▲11	▲0.0%
営業外費用	105	0.2%	134	0.2%	28	+0.1%
経 常 利 益	181	0.3%	▲73	▲0.1%	▲255	▲0.4%
特別利益	376	0.5%	5,029	7.3%	4,653	+6.8%
特別損失	562	0.8%	2,804	4.1%	2,241	+3.3%
税引前当期純利益	▲4	▲0.0%	2,152	3.1%	2,155	+3.1%
法人税等	302	0.4%	856	1.2%	554	+0.8%
法人税等調整額	1,734	2.5%	▲150	▲0.2%	▲1,884	▲2.7%
非支配株主に帰属する当期純利益	7	0.0%	26	0.0%	18	+0.0%
当 期 純 利 益	▲2,049	▲2.9%	1,419	2.1%	3,468	+5.0%

2. 新規出店・改装店実績

DAISYO CORP.

	28/8期
新規出店	16
店舗改装	54
閉店	53



業態別明細

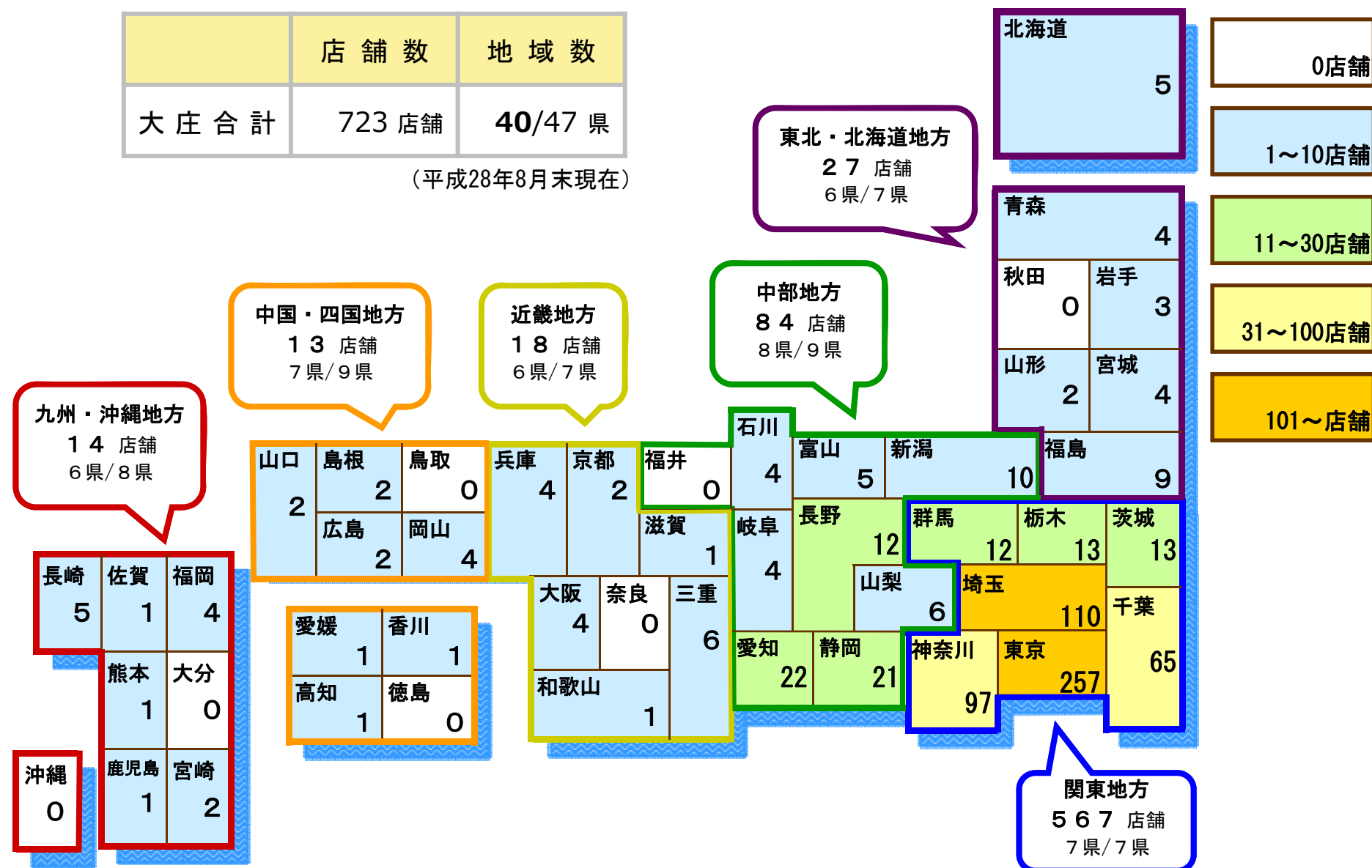
	27/8期	新規出店	(うち譲受)	改装	(うち業態変更)	閉店	増減	28/8期
庄や	206	2	(1)	5	(3) (▲11)	▲12	▲18	188
日本海庄や	109			4	(4) (▲4)	▲10	▲10	99
うたうんだ村	68				(▲10)	▲8	▲18	50
やるき茶屋	54				(▲5)	▲5	▲10	44
大庄水産	20	5		8	(8)		13	33
築地日本海	20				(▲1)	▲3	▲4	16
築地寿司岩	18			1		▲5	▲5	13
とり家 爰び寿	1	3	(2)	8	(8)		11	12
塩梅	12				(▲2)	▲1	▲3	9
ファンタジー	0			8	(8)		8	8
呑兵衛	8			1	(1) (▲2)		▲1	7
MIYABI CAFÉ	3	1		1	(1)		2	5
もつ鍋 お多福	4	1				▲1	0	4
羊肉酒場 悟大	0	1		2	(2)		3	3
その他	55	3		16	(16) (▲16)	▲8	▲5	50
大庄合計	578	16	(3)	54	(51) (▲51)	▲53	▲37	541

3. 都道府県別 グループ店舗数

DAISYO CORP.

	店 舗 数	地 域 数
大 庄 合 計	723 店舗	40/47 県

(平成28年8月末現在)



4. 売上高

(1) 既存店売上高（対前年比）

<前年比実績推移表>

	26/8期	27/8期	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	28/8期	9月
売上高	93.5	101.0	102.2	106.1	97.8	102.5	102.1	99.9	97.2	98.8	93.7	98.5	101.5	96.2	99.8	98.9
客数	93.6	98.8	98.5	101.6	96.0	99.9	99.8	101.1	95.7	97.7	93.5	97.1	99.3	95.9	98.0	97.5
客単価	99.8	102.2	103.8	104.3	101.9	102.6	102.4	98.8	101.5	101.1	100.3	101.5	102.3	100.3	101.8	101.4

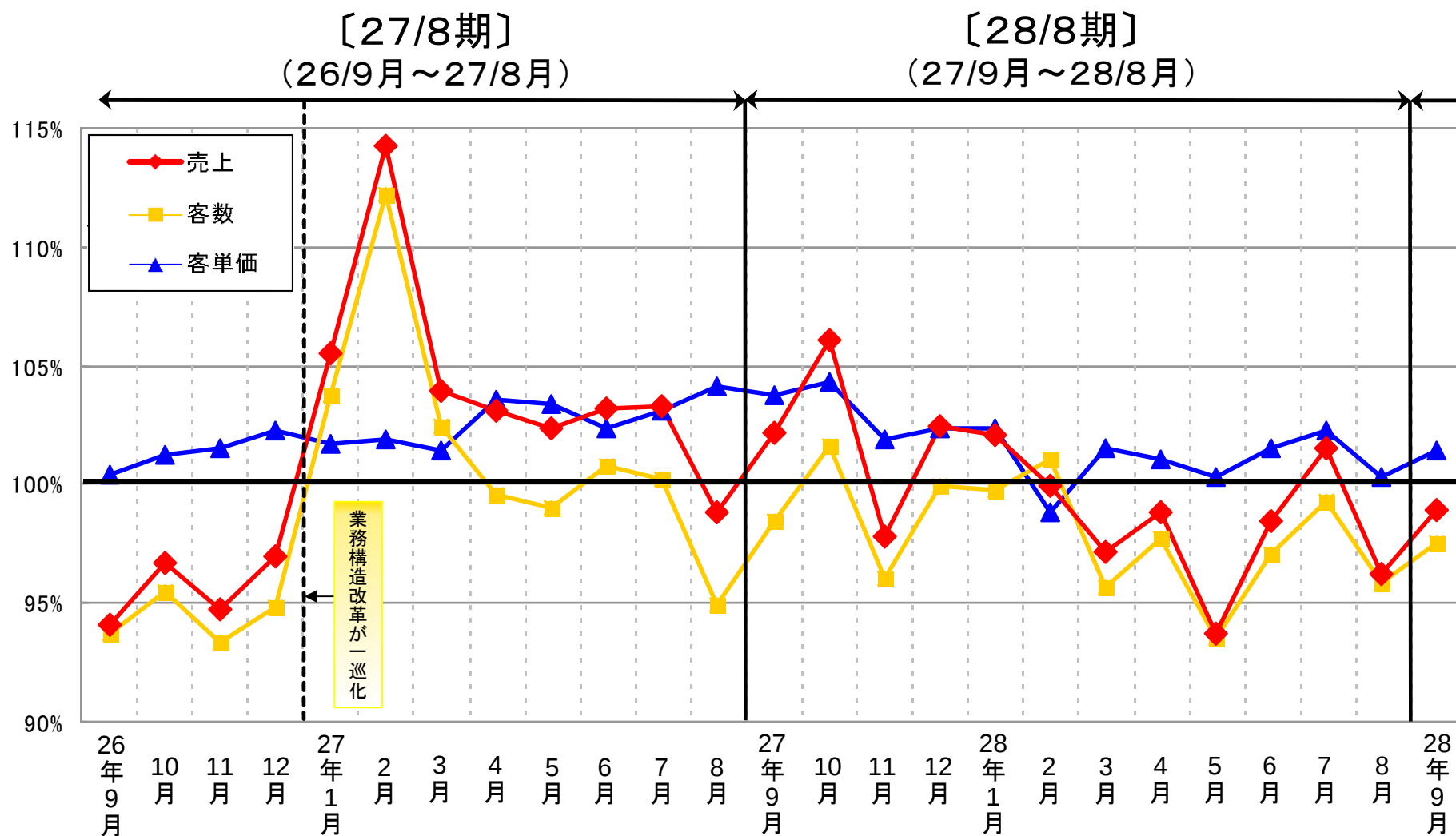
<カテゴリー別前年比実績>

	昼	宴会	夜フリー	28/8期 累計
売上高	100.2%	101.3%	99.4%	99.8%
客数	98.0%	99.5%	97.8%	98.0%
客単価	102.2%	101.8%	101.6%	101.8%

<カテゴリー別売上構成比>

	昼	宴会	夜フリー
26/8期累計	14.3%	13.5%	72.2%
27/8期累計	14.5%	12.6%	72.9%
28/8期累計	14.3%	12.6%	73.1%
前期増減率	▲0.2%	+0.0%	+0.2%

(2) 既存店売上高・客数・客単価の前年比月別推移表



5. 販売費及び一般管理費の内訳

DAISYO CORP.

【単位：百万円】

	平成27年8月期 実績		平成28年8月期 実績		増 減 額	
		対売上比率		対売上比率		比率差
人件費	24,407	34.5%	23,815	34.8%	▲592	+0.3%
地代家賃	7,149	10.1%	6,759	9.9%	▲389	▲0.2%
水道光熱費	3,596	5.1%	3,027	4.4%	▲568	▲0.7%
減価償却費	1,778	2.5%	1,600	2.3%	▲177	▲0.2%
販促・広宣費	1,536	2.2%	1,482	2.2%	▲54	▲0.0%
消耗備品費	1,264	1.8%	1,327	1.9%	63	+0.1%
衛生費	1,008	1.4%	940	1.4%	▲68	▲0.0%
その他	3,590	5.1%	3,702	5.4%	111	+0.3%
販売費及び一般管理費	44,331	62.7%	42,656	62.2%	▲1,675	▲0.4%
営業利益	190	0.3%	▲24	▲0.0%	▲214	▲0.3%

6. 連結特別利益・特別損失の内訳

DAISYO CORP.

【単位：百万円】

➤ 特別利益

項 目	27/8期	28/8期	増 減	備 考
固定資産売却益	206	4,990	4,784	
受取補償金	170	29	▲140	
投資有価証券売却益	—	9	9	
特 別 利 益	376	5,029	4,653	

➤ 特別損失

項 目	27/8期	28/8期	増 減	備 考
固定資産売却損	2	1,107	1,105	
減損損失	364	1,025	660	
役員退職慰労引当金繰入	—	295	295	
固定資産除却損	129	279	150	
店舗関係整理損	53	72	19	
閉店損失引当金繰入額	12	23	10	
特 別 損 失	562	2,804	2,241	

7. 連結貸借対照表 (B/S)

DAISYO CORP.

(単位：百万円)

	27/8期	28/8期	増減額
流動資産	15,264	18,625	3,361
現預金	11,390	15,071	3,681
売掛金	2,278	1,913	▲364
棚卸資産	641	611	▲30
短期繰延税金資産	317	302	▲14
その他	636	726	89
固定資産	27,455	22,384	▲5,070
有形固定資産	15,609	10,941	▲4,668
無形固定資産	1,092	1,325	232
敷金・保証金	10,198	9,494	▲704
長期繰延税金資産	42	161	118
その他	511	462	▲49
資産合計	42,719	41,010	▲1,709

	27/8期	28/8期	増減額(率)
有利子負債	9,442	6,167	▲3,275
現預金	11,390	15,071	3,681
NET有利子負債	▲1,947	▲8,904	▲6,956
自己資本比率	51.2%	56.1%	+4.8%
有利子負債依存度	22.1%	15.0%	▲7.1%

	27/8期	28/8期	増減額
負債合計	20,665	17,835	▲2,830
買掛金	2,242	2,064	▲178
未払金	2,659	2,539	▲119
借入金(長短)	9,092	6,017	▲3,075
社債	350	150	▲200
リース債務	654	386	▲268
資産除去債務(長短)	1,062	1,410	348
その他	4,604	5,267	663
純資産合計	22,053	23,174	1,120
株主資本	22,177	22,876	698
資本金	8,626	8,626	—
資本剰余金	9,908	9,908	—
利益剰余金	4,245	4,944	698
自己株式	▲602	▲602	—
その他包括利益累計額	▲285	125	410
非支配株主持分	161	172	11
負債・純資産合計	42,719	41,010	▲1,709

8. 連結キャッシュ・フロー

DAISOY CORP.

【単位：百万円】

	平成27年8月期	平成28年8月期	増減額
1. 営業活動CF	2,062	1,310	▲751
税引前利益	▲4	2,151	2,155
減価償却費	1,847	1,643	▲204
減損損失	364	1,025	660
各種引当金純増減額	▲144	357	501
有形固定資産売却益	▲206	▲4,990	▲4,784
有形固定資産売却損	2	1,107	1,105
法人税等	▲118	▲319	▲200
その他営業CF	321	335	14
2. 投資活動CF	495	6,022	5,527
有形固定資産の取得による支出	▲1,251	▲2,274	▲1,022
有形固定資産の売却による収入	1,169	8,197	7,027
敷金・保証金の差入・回収純増減額	702	669	▲32
その他投資CF	▲125	▲569	▲444
※ フリーキャッシュ・フロー	(2,557)	(7,333)	(4,775)
3. 財務活動CF	▲237	▲3,638	▲3,401
長短借入金の純増減額	1,694	▲2,828	▲4,522
社債の純増減額	▲1,200	▲200	1,000
リース債務の返済支出	▲440	▲364	75
配当金の支払額	▲290	▲291	▲0
自己株式の取得による支出	▲0	—	0
その他財務CF	—	44	44
4. 現金及び現金同等物の増減額	2,320	3,694	1,373

9. 関係会社の状況

➤ 連結子会社

(単位：百万円)

	主要な事業内容	本社 所在地	資本金	28/8期 売上高	議決権の 所有割合	備 考
米川水産(株)	生鮮魚介類等の 卸売業	東京都 中央区	90	4,254	100.0%	・ 築地市場での買参権を保有 ・ 外販部門の営業を強化
(株)ディ・エス物流	食材等の配送業	東京都 中央区	99	6,169	100.0%	・ グループ店舗へ食材等を毎日一括配送 ・ 外部取引先への配送業務を強化中
(株)アサヒビジネス プロデュース	不動産賃貸管理 煙草・飲料販売	東京都 中央区	60	577	75.0%	・ ソシアルビルの転貸業務が柱 ・ グループ店舗中心に「害虫駆除」事業を拡大中
新潟県佐渡 海洋深層水(株)	飲料水等の 製造・販売	新潟県 佐渡市	96	229	100.0%	・ 海洋深層水を利用したミネラルウォーターのOEM製造
(株)ミッドワーク	業務用空調機の 洗浄・修理	千葉県 柏市	10	61	80.0%	・ 27年10月に連結子会社化 ・ 業務用エアコン洗浄及びメンテナンス業務が主

※ なお、当社は、(株)アルスの全株式を平成28年8月31日をもって売却したことにより、同社を当社グループから除外いたしております。

➤ 持分法適用関連会社

	主要な事業内容	本社 所在地	資本金	28/8期 売上高	議決権の 所有割合	備 考
(株)エム・アイ・ プランニング	酒・飲料等の卸売・ 配送業	東京都 葛飾区	10	2,262	20.0%	・ 当社並びにF C店舗に酒・飲料等を卸売・配送

10. 29／8月期 公表計画(連結ベース)

DAISYO CORP.

(単位：百万円)

	28/8期 実績	構成比	29/8期 計画	構成比	前期比 増減	増減率	29/中間期 計画	構成比
売上高	68,537	100.0%	67,750 (59,250)	100.0%	▲787	▲1.1%	33,700	100.0%
営業利益	▲24	▲0.0%	700 (400)	1.0%	724	—	270	0.8%
経常利益	▲73	▲0.1%	740 (940)	1.1%	813	—	290	0.9%
当期純利益	1,419	2.1%	180 (490)	0.3%	▲1,239	▲87.3%	80	0.2%

※ ()は単体

<特別損失>

➤ 店舗改装、統廃合に伴う固定資産除却損等

	28/8期 実績	29/8期 計画
特別損失見込	2,804	300

11. 29／8月期 店舗計画

(1) 既存店売上計画（対前年比）

29／8月期 通期計画 101.3%

→ 上半期 100.6%、下半期 102.1%

(2) 新規出店計画

		28/8月期 実績	29/8月期 計画
連	結	16 店舗	10 店舗

➤ 新規出店は抑制方針

(3) 改装店舗計画

		28/8月期 実績	29/8月期 計画
連	結	54 店舗	70 店舗

➤ 店舗改革はピークに

➤ 新しい「専門店」業態への転換を強化

(1) 店舗改装の強化

- ① 店舗構造改革ピーク年度として、「70店舗」を計画
- ② 新業態への転換を中心に改装を進め、売上高と収益基盤の構造改革を進める

(2) 利益計画の骨子

- ① 既存店前年比 通期 101. 3%(上期 100. 6% 下期 102. 1%)
 - ・MD改革の推進による、売上原価率の低減を見込む
 - ・販管費率は、人件費・減価償却費を中心に低減効果を見込む
 - ・店舗オペレーション改善の取組による、「FLコスト削減運動」
- ② 前期の新店・改装店のオペレーション安定化に伴う収益改善
- ③ 前期店舗閉鎖(53店舗)に伴う収益改善効果
- ④ 一方、今期改装(70店舗)における改装期間中の売上減少や消耗備品費その他の経費の一時増加、店舗運営の立ち上がりまでの営業損失なども織り込み

(3) 経営管理システム革新

- ① 新システムへの見直し移行中 ～ 新会計システム・新人事システムは、新年度よりスタート
- ② 現在基幹システムの全面見直し実施中
 - 来年9月新物流管理システムの稼働開始予定(新物流センターにも対応)
 - その後、新営業管理システム取組方針

13. 中期経営計画（連結ベース）

DAISYO CORP.

（単位：百万円）

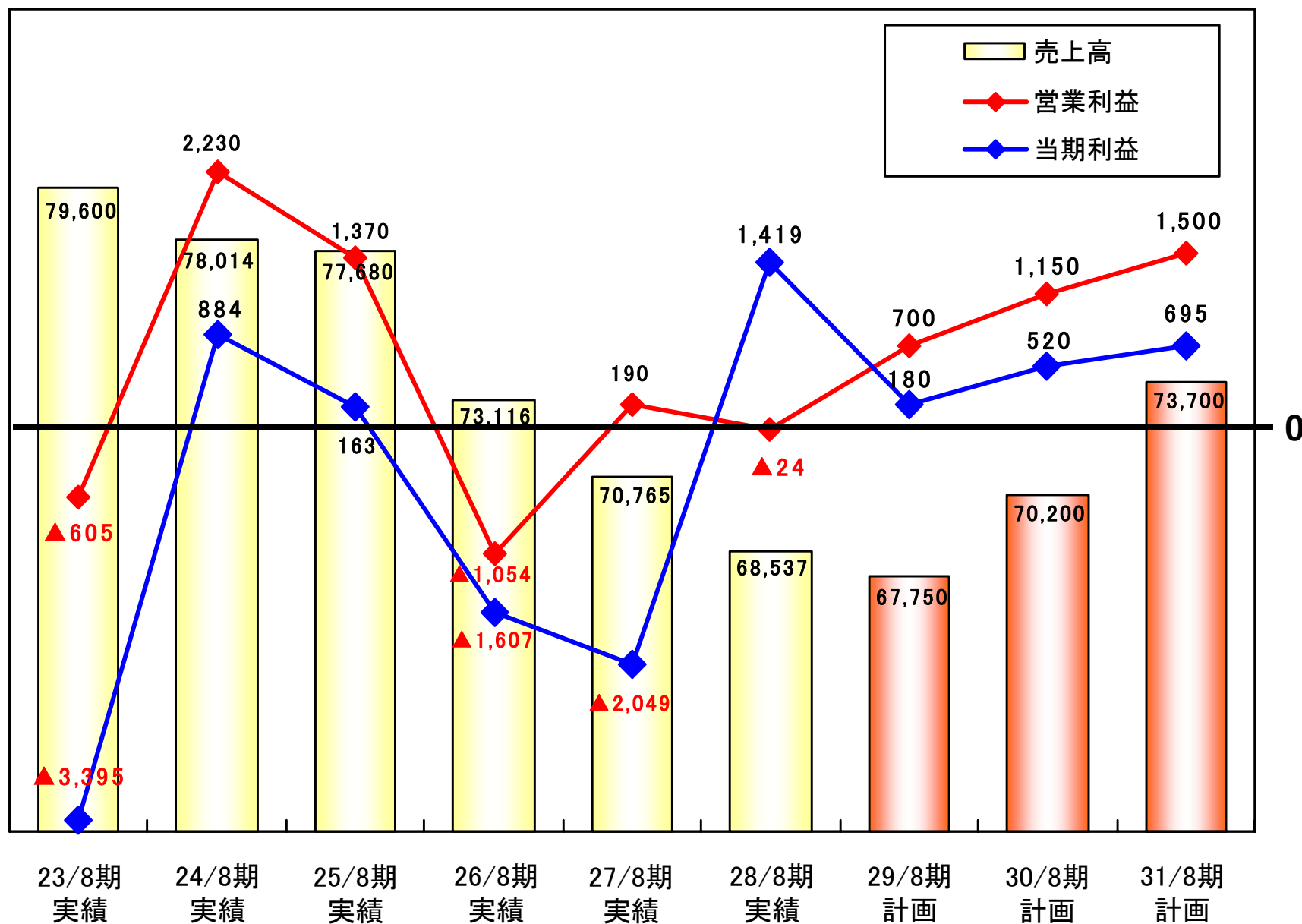
1. 当面は、収益源である「既存店舗対策」を強化し、「店舗改装」を最重点に取り組む
2. 収益力基盤が固まり次第、「新規出店」を拡大していく

	27/8期 実績	構成比	28/8期 実績	構成比	29/8期 計画	構成比	30/8期 計画	構成比	31/8期 計画	構成比
売 上 高	70,765	100.0%	68,537	100.0%	67,750	100.0%	70,200	100.0%	73,700	100.0%
営 業 利 益	190	0.3%	▲24	▲0.0%	700	1.0%	1,150	1.6%	1,500	2.0%
経 常 利 益	181	0.3%	▲73	▲0.1%	740	1.1%	1,190	1.7%	1,540	2.1%
当期純利益	▲2,049	▲2.9%	1,419	2.1%	180	0.3%	520	0.7%	695	0.9%
新規出店数	5 店舗	—	16 店舗	—	10 店舗	—	10 店舗	—	30 店舗	—
改装店数	18 店舗	—	54 店舗	—	70 店舗	—	30 店舗	—	20 店舗	—
閉 店 数	26 店舗	—	53 店舗	—	10 店舗	—	10 店舗	—	10 店舗	—
期末店舗数	578 店舗	—	541 店舗	—	541 店舗	—	541 店舗	—	561 店舗	—

通期連結売上高・営業利益・当期純利益の推移表

DAISYO CORP.

(単位:百万円)



【将来見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績見通し等に関する記述内容につきましては、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

従いまして、実際の業績等は、様々な要因により大きく変動する可能性があることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える要因としては、当社グループを取り巻く経済・社会情勢や市場環境、会計基準や法律・諸制度の変更などがあります。さらに、自然災害などの予測不可能なリスク要因も含まれております。

また、当資料は、当社グループをより深く理解いただくために、株主、投資家の皆様への情報提供を目的としたものであり、必ずしも投資をお勧めするものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

**IRお問い合わせ先**

担当部：株式会社大庄 経営企画部

電話：03-5764-2229

FAX：03-5764-2237